

空き家バンク制度について

まんのう町役場地域振興課

2024/4/1

空き家バンクへの登録について

最近、都会から田舎に移り住みたい、週末は自然を満喫しながら静かな時間を過ごしたいという強い思いから、田舎にある空き家を求めている方が増えており、県内外からのお問い合わせが多く寄せられています。

しかしながら、「空き家はありませんか」というお問い合わせに対し、紹介できる物件が少なく、十分な対応が出来ない状況です。

まんのう町内は民間の賃貸住宅が少なく、町営住宅も入居条件があり、いざ住みたいと思っても難しいのが現状です。また、高齢化が進み、空き家となったお家が**増加**していることから、そのまま置いておくのではなく、賃貸若しくは売買により誰かに住んでもらうことで、家も維持管理できると同時にコミュニティの再生にも寄与すると思われます。是非空き家をお持ちの方は登録していただけたらと思います。

「まんのう町空家等情報登録制度」の仕組み

空き家
所有者

①登録の申し込み

まんのう町

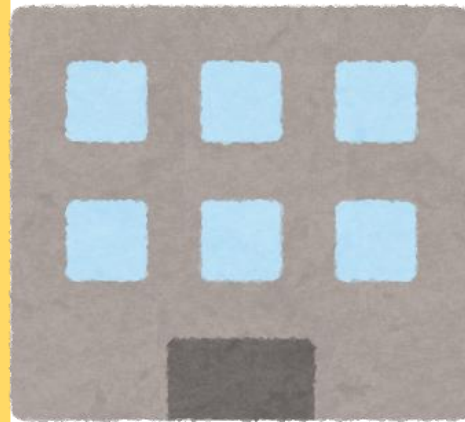
③登録情報の提供

空き家
利用希望者

②現地調査

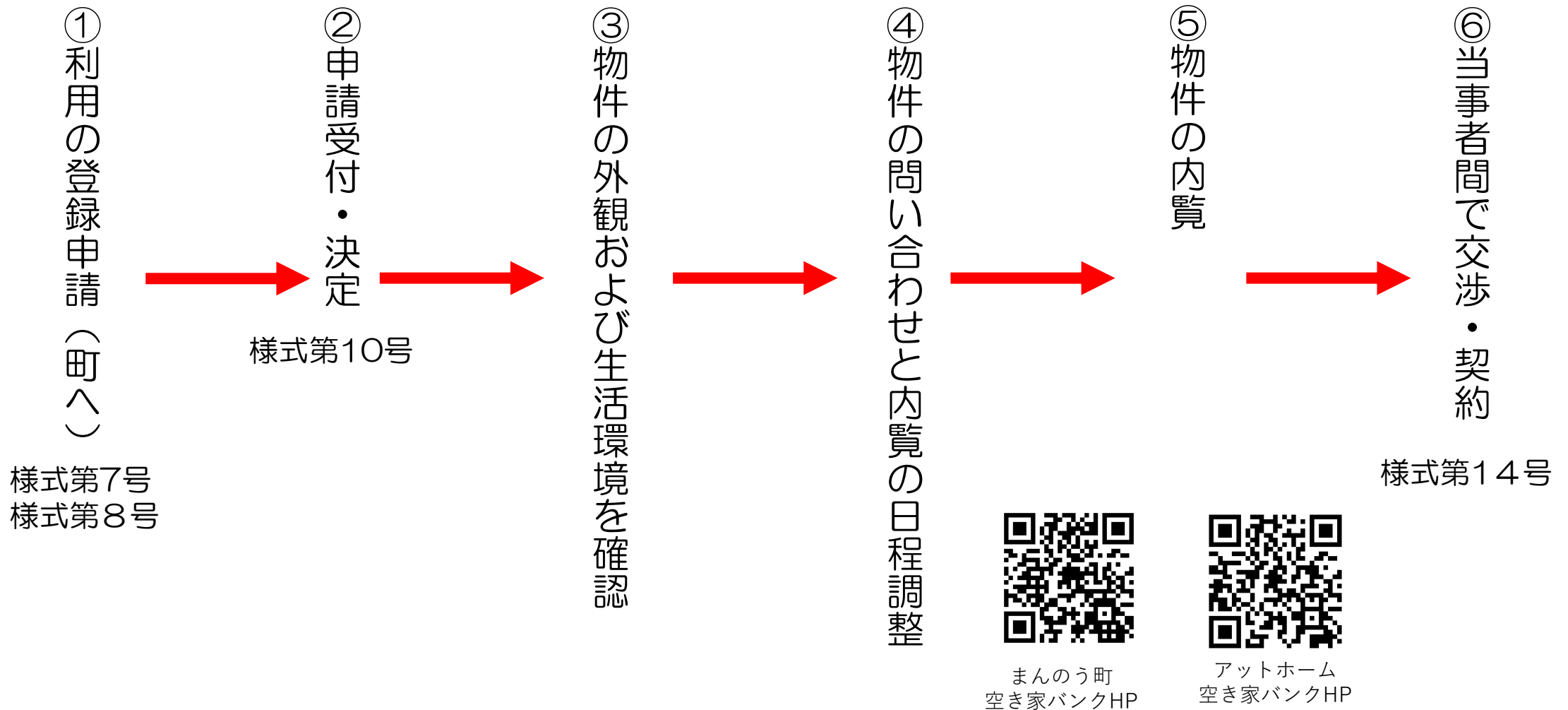
④問い合わせ

⑤当事者間で交渉・契約



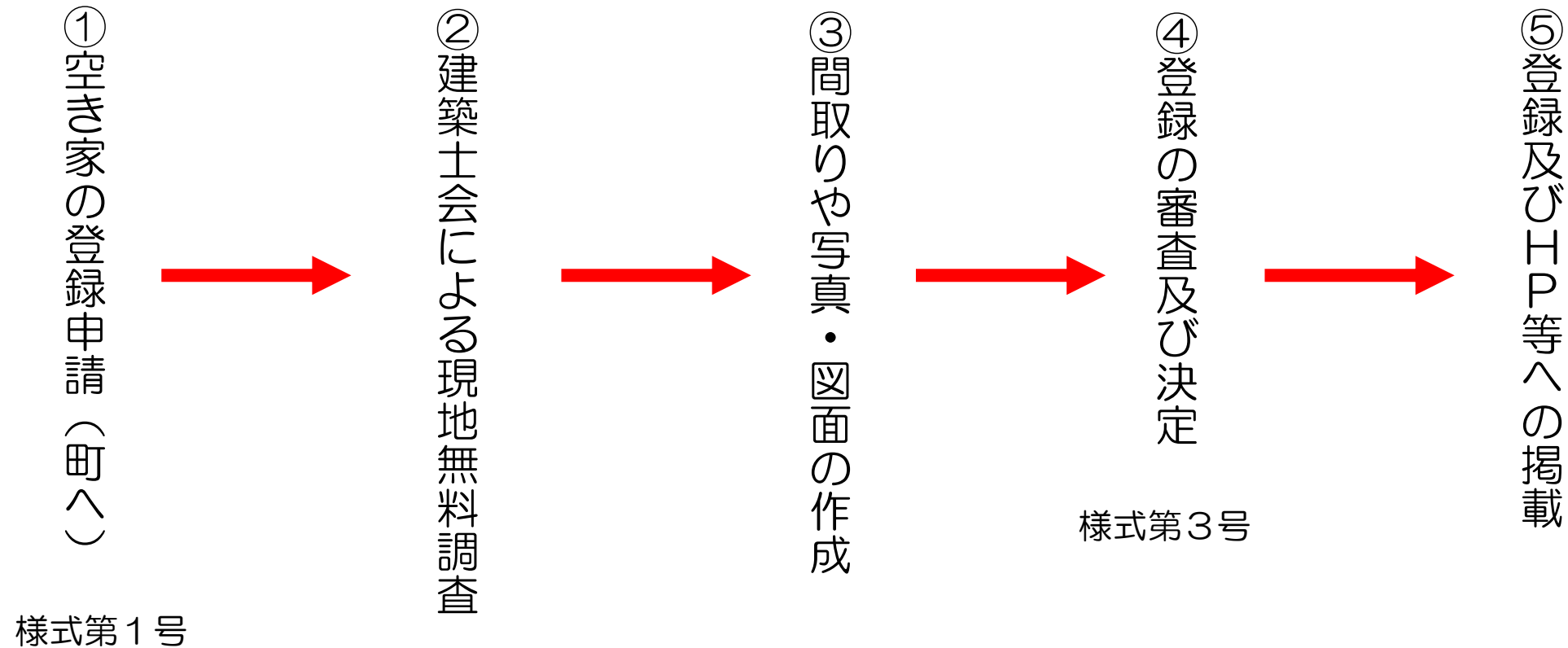
1)利用者登録について

空き家を利用したいと考えている方は以下の流れとなります。



2)空家登録について

空家を登録したいと考えている方は以下の流れとなります。



2)空家登録について (①登録申込書の書き方)

様式第1号(第4条関係)

まんのう町空き家等情報登録申込書

令和〇年 〇月 〇日

まんのう町長 様

申込者 郵便番号 〇〇〇-〇〇〇
住所 まんのう町〇〇1111番地
氏名 満瀬 太郎
電話番号 〇〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇

申込者と所有者は原則、同一人物をお願いします。

登録制度要綱に定める制度の趣旨等を理解し、同意により、次のとおり空き家等情報の登録を申し込みます。

所有者	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 まんのう町〇〇1111番地
	氏名	満瀬 太郎
	TEL	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
管理者 (所有者と同じ場合は不要)	住所	〒 申込者が遠方におすまいで、近所の方や不動産会社に管理をお願いする場合、ご記入ください。
	氏名	
	TEL	
空き家等の所在地	まんのう町	〇〇1〇〇〇 番地
HPの公開		☒ 可 ・ ☐ 不可

(表面)

空き家等の状況	用途	☒ 住宅 ☐ 店舗・工場・その他 ()
	構造	☒ 木造 ☐ RC・鉄骨・その他 () ☒ 平屋 ☐ 2階 ☐ その他 (階)
	延床面積	〇〇.〇 m ²
	建築時期	大正・昭和・平成 年
売買又は賃貸の別	☒ 売却したい ☐ 2 貸したい (賃借権 定期借家)	
売却価格又は賃貸料の希望条件	売却希望価格	〇〇〇万 円 (建物のみ・ ☒ 土地建物)
	賃貸希望条件	権利金 円 賃料 円/月
定期借家の場合の借家期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
飲用水、電気及びガスの提供並びに排水のための施設の整備状況	飲用水	☒ 上水道・井戸・谷水・その他 ()
	電気	☒ 有 ☐ 無
	ガス	☒ プロパンガス ☐ IH・無
	排水	☐ 浄化槽・くみ取り ☒ 合併浄化槽 ☐ 下水道
	トイレ	☒ 水洗・くみ取り ☐ 洋式 ☐ 和式
附帯物件	風呂	☒ 浴槽・薪たき・電化式
	畑	m ²
	田	m ²
	その他	m ²
附帯物件の条件	1 売却したい	希望価格 円
	2 貸したい	希望賃料 円/月
貸与等相手方に対する要事項		

添付書類 固定資産税納税証明書等

(同意事項)
本町が、空き家等の情報確認のため、法務局等で、必要な個人情報の取得することに同意します。
また、親族等、登録する空き家の関係人に対しては、私の責任において本申請を行うことを説明し、了解を得ています。

申込者氏名(自署) 満瀬 太郎

(裏面)

空き家バンク登録の注意事項

- 添付書類について、固定資産税納税者の固定資産税納税証明書、固定資産税領収証書、滞納のない証明、通帳のコピー等、固定資産税を納税したことが分かる書類のご提出をお願いします。
- 申請者が遠方にお住まいで、カギ管理者（内覧の際に立ち会える方）が近くにいない場合、不動産会社等にカギ管理の依頼をお願いします。
- 不動産会社に依頼した場合、建築士会による現地調査を省きますので、申請時に**間取り図・物件の内部ないし外部の写真の提出**をお願いします。

申請にあたってのチェックリスト

家財道具	☐ あり（ ） ☐ なし
仏壇	☐ あり（ ） ☐ なし
雨漏れ	☐ あり ☐ なし
床の凹み等	☐ あり ☐ なし